



先生の晴れ日

孫の運動会がありました。年少組の孫にとっては、初めての運動会です。幼稚園の近所にある公園が会場です。運動会の前日は、台風19号の影響で大阪も強い雨と風。中止にならないことを願っていました。

当日、父兄の有志は午前6時集合。グラウンドの水をスポンジで吸い取るボランティア作業があり、8時から場所取り開始。9時から運動会が始まり、午前12時に父兄と一緒に持参のお弁当を食べ、午後1時間ほど競技があって終了というのがスケジュールです。閉会式では、園長先生が毎年のように園児の組み体操に感激し、号泣しながら挨拶されるとのこと(ちなみに、今年も号泣されました)。

筆者は、7時50分に会場に行きました。ボランティアに出た父親が場所取りをし、着替えに帰宅する間、取った場所を見とくのが与えられた役割。といっても、シートの上に座っているだけですから、まわりを観察して楽しんでいました。

園児の座席や諸道具は、幼稚園から運び込みます。自転車置き場を白線で区切り、万国旗の飾り付けと、順次準備が進みます。グラウンドの水の吸い取りが早く終わったので、準備は順調。8時過ぎには、あらかた終わっていました。

9時少し前に、入場門に先生たちが集まり



▲先生たちの記念撮影

ました。打ち合わせをするのだろうと思っていたら、門を背景に記念撮影。30人くらいの先生がいたでしょうか。人数の多さに驚きます。男性の先生も何人かいましたし、若い先生からベテランの先生まで、多様性を感じる先生集団です。

ふと、思いました。運動会は子どもの晴れ日。その日に向けて、練習を重ねています。家族も応援に行きます。同時に、先生にとっても晴れ日かもしれません。整列することも難しい園児に、お遊戯やかけっこを教え、練習させ、衣装を準備して、運動会を迎えられるわけです。園児に対する、先生の気持ちがこもったものが、園児の演技。集団生活が苦手ですぐに脱走する孫が、曲がりなりにも、みんなと一緒に演技をしているのを見て、先生にとっては「やっとこぎ着けた晴れ日」だからこそその記念撮影なのだろうと思っていました。

(MBO実践支援センター代表 大阪商業大学特任教授)

